

金木 だより

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

嘉瀬、喜良市も
サイレンで正午を

嘉瀬本町と喜良市支所前にあるサイレンは、今まで、火災や水害など災害時の警報等のみ使用していましたが、二月一日より毎日正午にサイレンで時報として鳴らすことになりました。
正午のサイレンは十五秒間鳴らすのですが、火災警報などと間違わないようにしてください。



〔写真〕華やかな晴着姿で真剣に討議する成人式風景〕

新成人に望む

戦前、男子には、満二十才に達すると「徴兵検査」という制度があつて、それが、ひとつの境目になり、心構えも大人（おとな）になり、世間でもはっきりした差別をつけたものです。

戦後は、この制度が廃止され、それにかわつて「成人の日」を定めてお祝いするようになりました。満二十才の誕生日を迎え「成人」になつた諸君は、法律的に、国家の一員として貴重な権利と義務が与えられ一人前の社会人として、厳肅なる人生の歴史の第一歩を踏み出すことになつたのです。

激動するであろう「七十年代」に成人の日を迎えられた若人の諸君が、物質文明に押し流されることなく、人間らしく、豊かに生きる「ために、諸君のひとりひとりが、自己の「判断と意見」を持つことによつて、山積している難問題に立ち向う勇気が生れ、解決のための行動を起すことができるのではないかと思います。

私たちの町に籍のある今年の新成人は、三百十八名あります。毎年行なつてきましたところの一月十五日の「成人を祝う」集いには、出稼ぎや県外就職のため、本年の参加者は百四十八名でしたが、その日の「誓いのことば」とおり、諸君が「真の平和民主主義を守り、立派な日本人となるため最善の努力をつくし、郷土を愛し郷土の発展に貢献する」頼もしい若人になつてほしいのです。そして町発展のため、若いエネルギーの全員が「町づくり」の太い綱になつていただきたいのです。

金木町長 三上武男

年頭の辞より

昭和四十七年度の重要施策

恒例の名刺交換会での席上、三上町長は「昨年の反省と昭和四十七年度における町行政上の方針」を述べ、年頭の辞としましたが、その内容は、明年度の予算編成に直接関係あるものが多かったため、主なものを次に紹介してみよう。

豊かで住みよい町に

国有林活用は調査を

に委託して行います。

昨年五月から『金木町振興に關する基本的問題およびその対策方向等について』というテーマで、弘前大学小林時三郎教授（経済学博士）を主班とする七名編成の調査団に、いわゆる「町づくり」の基本構想について診断を依頼しているほか、上水道、畑地かんがい用地下水および温泉源の適地等の水資源の予備調査を、弘前東北女子大学酒井軍治郎教授（理学博士）



〔写真〕放任されている金木地区の畑地および原野

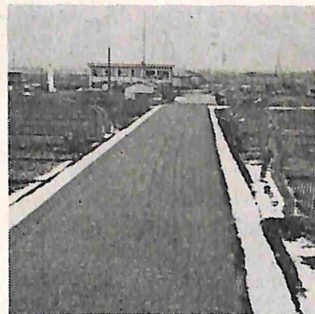
総合計画 開発の基本構想は 観光と農業の 町づくりを

「町づくりの基本構想」は二月中に、また、水資源開発の調査結果は、四月から本調査に入り六月末までには、それぞれ、報告書が提出されることになっており、七月末には、これに基いた『金木町総合開発計画』を完成させる予定です。この総合開発計画は昭和四十六年度を起点とし、六十年度を目標とした「基本構想」に基いての五カ年の「基本計画」と三カ年間の「実施計画」からなっています。が「実施計画」はローリング方式を採用することになっています。

域 町道整備は 広 パーセント消化

板柳町を除いた西北五地域広域市町村圏の關係は、昭和四十六年

〔写真〕九メートル巾の町道 新喜良市線



度から実施に入りましたが、広域的施設は、中核都市となつて五所川原市にほとんど集中されるので、当町は、中央公民館、総合グラウンド、消防や病院關係などを除けば、町道の整備が重点事業となつており、本年度は約四千万円、明四十七年度は約五千万円を道路整備にのみ投入する計画です。したがって、広域的な施設は四十八年度以降に実施する計画になっています。

国有林 大規模草地開発で 肉牛 五年後は八百頭に

蟹田町、蓬田村、中里町、金木町の二郡四ヶ町村にまたがる大規模草地開発事業は、県畜産課が主体となつて、明四十七年度に調査することに本決りとなり、四十八年度から国が二カ年にわたつて調査、五十年後から実施するという計画ですが、これは国有林活用の重要事業でもあります。この事業は、約四億円の事業費

畑、原野 畑作 パイロット事業を 畜産振興は乳牛で

川倉一金木一坂本地区の畑地および原野など約九百畝を、集約的な畑作と畜産振興に役立てようとして計画ですが、とりあえず畑かんがいの地下水の確保のための地層調査を実施し、明四十七年度には、単年度で次の事業を実施する計画をたてています。

畑作パイロット事業

これは、総事業費約三千七百万円で、ボーリングによる畑地かんがい用水を確保し、対象面積は金木二・一畝、川倉三五畝、坂本二・五畝。主な作目は、馬鈴薯、長いも、大根、人参、ゴボウ、白菜、メロンなどで、トラクター、トレンチャーなどの農機具導入も計画しています。

事業主体は、金木農業協同組合で県費補助が四割です。

特産物生産団地育成事業

川倉地区二〇畝、金木、坂本地区三〇畝のタバコ栽培の増反事業で、タバコの共同利用施設や農機具導入等、県費補助四割の総事業費約二千三百万円で二カ年で実施します。

団体営草地開発事業

総事業費約五千六百万円。これは川倉地区の原野を草地として改良し、金木町全体で、現在二一〇頭の乳用牛を、五年後には、二五〇頭にふやすという計画で、牧さく、待避舎など共同利用施設などの事業も含まれます。

これも事業主体は金木農協で、国、県の補助が七割と高率です。

ローリング方式とは

三カ年の実施計画をたてた場合、仮りに、初年度に実施できなかった事業があれば、次年度において実施するようコロがして計画を変更していく方式をいいます。広域市町村圏計画もこの方式を採用しています。

一部事務組合とは

二カ町村以上の地方公共団体で、役場事務を共同処理する組合で、例えば金木、中里の二町でもって組織している「津軽北部消防事務組合」や「西北五衛生処理組合（ゴミし尿処理）」などがそれぞれ、関係町村議会で選任した議員で構成する組合議会もある特別地方公共団体です。



〔写真〕名刺交換会で年頭の辞を述べる
三上町長〕

輝やかしい新春を
寿ぎ、謹んで新年の
ご挨拶を申しあげま
す。

顧みますと、昨年
は、内外ともに、史
上最大のショックを
受けた年だと思いま
す。中国の国連加盟
と円の高騰、そして
隣国の軍力のミ
サイル射場の問題な
ど、国際情勢の変化
による影響が私たち
の町にも、しだいに
身近かな問題として
感ずるようになりま
した。

年頭の辞

問題山積の年

町づくりを全力傾注

金木町長 三上武男

いる紆余曲折があり、申しわけな
いと存じ、お詫び申しあげます。
さて昨年は西北五広域圏計画の実
施第一年度を迎え、町道整備事業
費に四千万円近く投資できたこと
をはじめ、嘉瀬小学校第一期工事
の着工、嘉瀬公民館の完成、職業
訓練所の増築、喜良市小学校と金
ます。

木中央公民館用地の確保そして農
協合併の実現、小田川土地改良区
の誕生など割合いスムーズにいっ
た年ではなかったかと思えます。
これは、ひとえに、町民の皆様
のご理解あるご協力と、関係各機
関や各種団体の絶大なご支援に
よる賜と存じ、心から感謝の意を
表するものであります。

では、昨年からの制度化された『自
然休養村』への立候補、畑作パイロ
ット事業の指定実施、嘉瀬小学校
の第二期工事、山村振興法による
喜良市生活改善センターの新設。
国、県および広域関係では、広域
圏計画、特に町道整備事業の百パ
ーセント消化、小田川地区土地改
良事業の促進、主要県道昇格の青
森―金木線の完通、蟹田、蓬田が
中里、金木の三町一カ村にまたが
る県単事業の津軽北部大規模農地
開発事業など、重要事項が山積し
ております。そして、町政転換の
新風を吹きこむであろうところの
町議会議員の選挙が間近に控え
るなど、誠に重大な年であると存
じます。

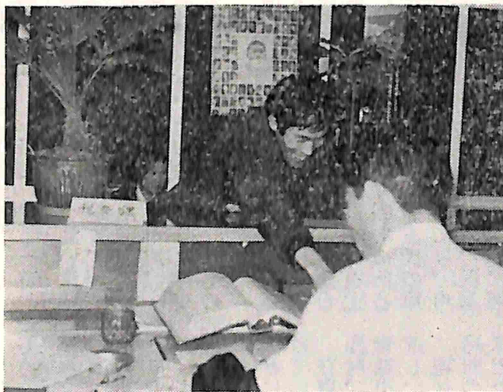
心配ごとと相談所開く

毎週木曜日に職員食堂で

金木町社会福祉協議会（会長花
田一氏）では、毎週木曜日午前九
時半から午後三時まで「心配ごと
相談所」を金木町役場の職員食堂
で開いています。

この相談所は、心配ごとや悩み
ごとのある方のご相談に応じ日常
生活の手助けをするところです。
ご相談を受けた内容については
絶対に秘密を守ることになってい
ますから、気軽にお出でくださる
ことをお待ちしております。
なお、相談所開設の日程は次の
とおりです。

月日	相談員	月日	相談員
1.20	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白	3. 2	門郎 義一 右八 勇亀 長喜 長ト 中橋 藤中 大工 山白
1.27	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白	3. 9	門郎 義一 右八 勇亀 長喜 長ト 中橋 藤中 大工 山白
2. 3	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白	3.16	門郎 義一 右八 勇亀 長喜 長ト 中橋 藤中 大工 山白
2.10	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白	3.23	門郎 義一 右八 勇亀 長喜 長ト 中橋 藤中 大工 山白
2.17	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白	3.30	門郎 義一 右八 勇亀 長喜 長ト 中橋 藤中 大工 山白
2.24	吉ミ 志子 長ト 正哲 川沢 賢京 白西 今白		



〔写真〕窓口で相談を受けるひとコマ〕

町民の声

出稼ぎ収入の税金について
問 出稼ぎした場合、その収入に対して税金がかか
りますか。
答 また、世帯主が水田一畝耕作し、その長男が、出
稼ぎで五十万円の収入があった場合、幾らぐらいの
税金がかかりますか。その税金は、誰の名義で課税され
のでしょうか。そして失業保険と税金の関係がどの
ようになっているか教えてください。
(金木町 農 K・H生)

課税対象になる 細部は税務課へ
答 出稼ぎの収入は失業保険金の受給の有無にかか
わらず課税の対象になります（失業保険金そのものは対象外）。
町、県民税の場合の例をとりますが、税金として
賦課される額は医療費、生命保険や扶養費などの所得
控除が、納税者によつて違うので、出稼ぎで五十
万円の収入があつても、その状況がわかりませんか
ら、計算のしようがないのです。
なお、出稼ぎによる長男の収入については長男に、
世帯主の収入に対しては、世帯主に、それぞれ税金
が課せられます。（税務課）

喜良市診療所再開へ

所長に金先生

開業医やめて韓国から

昨年三月、お医者さんが一身上の都合で退職したため、休業状態にあった喜良市診療所では、このほど、韓 喜良市診療所長として就任する



【赴任する金先生】

韓国から医師を招へ、現在、韓国の首都京城(ソウル)特別市で開業している金鼎祺(キンテイキ)先生(六〇歳)で、昭和十年三月東京医学専門学校(現東京医大)を卒業し、四月下旬 東京都世田谷区駒沢病院にも勤務して

再開を目標に手続きを進めている町当局も、まずはひと安心と胸をなでおろしています。

- 1 入所願書
- 2 履歴書
- 3 体力検査
- 4 提出書類

物、作文

昭和四十七年度 農業講習生の募集

五 戸籍抄本
出期間 昭和四十七年二月一日

- 1 高等学校卒業者または四十七年三月までに卒業見込みの者
- 2 高等学校卒業者と同等以上の学力があること知事が認める者

から二月二十九日まで

- 1 試験科目 現代国語、倫理・社会、数学1、生
- 2 試験の期日、場所 昭和四十七年三月十四日、十五日
- 3 試験科目 青森県立農業講習所

昭和四十七年三月二十二日

受験に必要な受験願書等の用紙は農業講習所または各地方の農林事務所にあります。なお、受験願書等の用紙の郵送を求める場合は、あて先を書

務したことがあり、日本語を自由に話す外科系の医師です。

金先生が、喜良市診療所長として就任することにきまつたいきさは、無医村対策に奔走している原田一実(金木町嘉瀬出身)県議会議員が特に、喜良市、市浦、小泊の実情を、韓国の日本無医村対策協議会に訴えて実現させたものです。

原田県議の話に幸いなことに日本大学時代の先輩橋田健二さんが同氏の同級生の雀重君さん(韓国日本無医村対策協議会理事長)を通して、雀さんと懇意の間柄にある現韓国大統領補佐官朴愷遠氏の厚意によって実現したものです。今後も西北地方ばかりでなく、医師不足で悩んでいる地域のため、努力するつもりです。

いた封筒に二十円切手をはって同封してください。

住宅相談と講習会

農家住宅の新築、増改築についての巡回相談所を二月三日午前九時三十分から午後三時まで金木町役場三階大会議室において開設することになりましたので、多数、受講下さるようお知らせします。

なお、これは、住宅設計、資金関係、新しい電気器具、配線、家庭電気設備関係などの各専門相談員を招き、農家の皆さんが住宅を新築あるいは増改築の際の参考にしていただくためのものです。受講ご希望の方は金木町役場建設課又は農業改良普及所(役場三階)へお申込み下さい。

二月四日青森市国際会館で

在青金木会の総会

国・県会議員や町長も参加

在青金木会では、年一回の総会を、来る二月四日(金)午後五時から、青森市新町国際会館で開くことになりましたが、同会では、気軽にご参加くださるよう呼びかけています。

在青金木会とは、旧金木町、嘉瀬村、喜良市村の出身者で、現在青森市に居住している人たちが結成し、親睦をはかる集いです。

現在、青森市に住んでいる方でも前のわかつているのが百三十名ほどですが、そのうち、住所不明の方が三十名ぐらあります。お

身内や知人の方があれば、左記のところまで、ご面倒でも、お知らせくださるよう事務局ではお願いしてきます。

総会当日には、来賓として出席する津島参議院議員、花田、原田両県議会議員や三上金木町長を囲んでの懇談会も開くことになって

事務局長の住所
〒030-0101
青森市横内字泉七九の八
今英三万 在青金木会

投票日は1月30日

金木町議会議員一般選挙

選びぬけ

悔なく四年まかす人

このたびの選挙は、現在の町政からみて近年にない大事な選挙です。私たちの町も、農政問題をはじめ、教育や行財政の問題など、私たちの生活とかかわりあいの深い多くの問題に当面しています。地方自治は、まず、皆さんの町の行政に対する関心の度合いによって左右されることが多いのです。

一月三十日の投票日には、選挙の主役は、われわれ有権者であることを自覚し、よく見、よく知り、よく考えて投票しましょう。

われわれ町民は、明るく正しい選挙をすることによって「政治の姿勢」を正し、町民生活を高めたいかなければならないと思います。

一、人間優先の政治を
一、くらし優先の政治を
一、民主政治の確立は、金のかからない清潔な選挙から

金木町青年団